

2025年7月14日

関西国際空港に水素で走る燃料電池マイクロバスを導入

～空港見学や泉州地域の周遊、大阪・関西万博へのツアーなどに活用予定～

関西エアポート株式会社は、岸和田観光バス株式会社との連携のもと、水素を燃料として走行する燃料電池（FC）マイクロバス^{*}を導入したことをお知らせいたします。

空港内を走行する FC バスとしては、2022 年より空港内の連絡バスとして運行している路線バスタイプの「SORA」に続いて 2 台目となります。今回導入する FC マイクロバスの特徴は、高速道路の走行が可能なことであり、関西地域では初めての導入となります。また、日本で初めて観光バスとしての使用を予定しており、空港見学のみならず、地元の泉州地域の周遊ツアーや、大阪・関西万博へのツアーでも活用が予定されています。

走行時に CO₂ や環境負荷物質を排出しない FC マイクロバスは、大阪・関西万博の未来社会ショーケースのテーマである「グリーン万博」、「スマートモビリティ万博」の実現にも寄与できるものと期待されています。

関西エアポートグループは、温室効果ガスの排出量を 2050 年までに実質ゼロとする長期ビジョンのもと、再生可能エネルギーの導入や水素の利活用をはじめとする環境負荷低減に向けた様々な活動に取り組んでいます。引き続き、空港や地域に関わる全てのステークホルダーの皆様との積極的なコミュニケーションに努め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

^{*}水素と空気中の酸素の化学反応によって発生する電気を用いてモーターを駆動させ走行するバス。走行時に CO₂ や環境負荷物質を排出しません。本車両の導入においては、当社と岸和田観光バス株式会社が共同出資し、環境省および大阪府の補助金の交付を受けています。

・令和 5 年度（補正予算）商用車の電動化促進事業（タクシー・バス）炭素成長型経済構造移行推進対策費補助金（環境省）

https://ataj.or.jp/subsidy/efv-f_taxibus_r5/

・令和 6 年度 万博を契機としたバス事業者の脱炭素化促進事業における補助金（大阪府）

https://www.pref.osaka.lg.jp/o120020/eneseisaku/banpaku_bus/index.html

【導入車両の概要】

トヨタ自動車株式会社のコースターをベース車両として MIRAI の FC システムを搭載し、優れた環境性能と低騒音・低振動を実現します。

乗車定員	最大 22 人（補助席 4 人含む）
航続距離	約 380 km
最高速度	95 km/h（高速道路を走行可能）
水素充填料	9.7 kg（70MPa）
給電能力	AC100V:1500w×6 セット（車外 6 口、車内複数）
	DC（CHAdeMO）：9kw

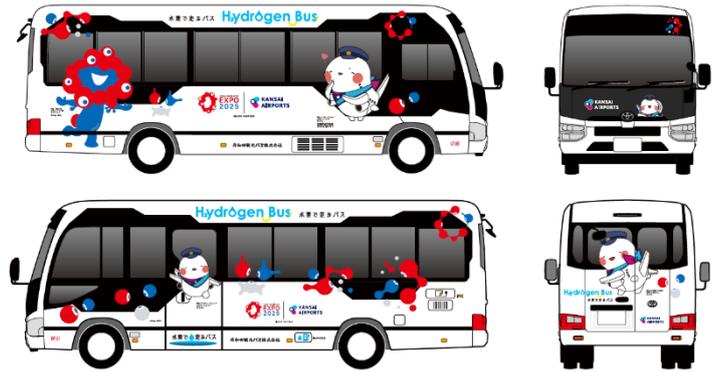
【報道関係の方からのお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション
Tel : 072-455-2201

【導入車両の外観】



実車の写真



車両デザイン

【燃料電池マイクロバスの利用申込に関するお問い合わせ先】

岸和田観光バス株式会社

大阪府岸和田市磯上町 4 丁目 281 番 3 号

TEL : 072-436-2222 FAX : 072-436-2223

E-mail : travel2@kishikan.co.jp

営業時間 平日・土曜 9:00~17:30 ※日曜・祝日は休み



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス株式会社 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

1964年に設立されたオリックスグループは、法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など、多角的に事業を展開する企業グループです。現在は、世界約30カ国・地域において、約34,000人の役職員により事業を展開しています。

オリックスグループの社会における存在意義は、「世の中がよりよい方向に進むきっかけとなる、“未来をひらくインパクト”をもたらすこと」です。このPurposeを軸に、グローバルで一体となり、社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、14か国において70以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構